

増税後の外食費に関する意識調査結果（回答者数：11,773人）**増税後の外食費、約3人に1人が削減に動く**

もっとも減らしたい外食費は「1人での食事」、維持したいのは「大切な人との記念日の外食」
日常の外食費を抑える一方、記念日などの“ハレの日”や、“女子会”の費用はキープされる傾向に

株式会社カカコム（東京都渋谷区 代表取締役社長 田中 実、東証コード：2371、以下カカコム）が運営するランキングとクチコミのグルメサイト『食ベログ(<http://tabelog.com/>)』は、サイトユーザーに、消費増税と外食費に関するアンケート調査を実施しました。

全国から寄せられた11,773名の回答を集計した結果を一部抜粋してご紹介します。

～調査トピックス～**◆増税後の外食費*、「少し減らす」「かなり減らす」合計約35%。約3人に1人は削減に動く**

増税後の外食費について、「特に変わらない」（64.9%）がもっとも多い回答となる一方、「少し減らす・かなり減らす」といった外食費を減らす意向の回答は約35%となり、約3人に1人は外食費削減に動いていることが明らかに。

*1ヶ月間の夜の外食費

◆削減対象は「1人での外食」（65.4%）、「大切な人との普段の外食」（38.4%）など日常的な外食

「1人での外食」（65.4%）「大切な人との普段の外食」（38.4%）「同性の友人との外食・飲み会」（28.7%）など、費用の調整が比較的容易な外食シーンにおいて減らしている模様。

◆“外食費削減派”でも、記念日・“女子会”の外食費は維持・増加の意向あり

外食費を減らす意向の人でも、例外的に費用を維持・増やしている外食シーンについて尋ねたところ、全体では「家族や恋人など、大切な人との記念日の外食」（43.3%）がダントツの結果。男女別でみると、女性は「同性の友人との外食・飲み会」（24.0%）が「記念日の外食」（48.4%）に次ぐ割合となり、“女子会”重視の様子が伺える。

◆ライフスタイルの充実に外食を活用している人ほど外食費を変えていない傾向

増税でも外食費を変えていない人にその理由を尋ねると、「外食が好き」（43.7%）「満足度の高い外食をしたい」（36.0%）など、食への関心の高さやこだわりを感じさせる回答が上位に。自由回答では「気分転換」「人脈作りや情報交換」「家族の団らん」といったコメントもあり、外食の時間を単なる食事の時間ではなくライフスタイルの充実やコミュニケーションの機会として活かしていることがわかった。

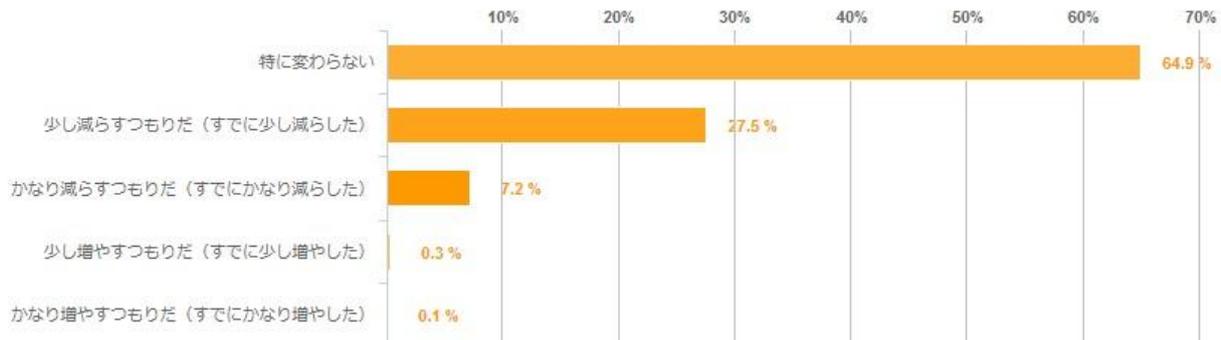
～詳細～

◆増税による外食費*の変化：「変わらない」64.9%、「少し減らす・かなり減らす」合計34.7%。

約3人に1人が削減の意向

「特に変わらない」が64.9%となり、増税があっても外食費を見直さない人がもっとも多くを占めました。次に「少し減らすつもりだ（すでに少し減らした）」(27.5%)、「かなり減らすつもりだ（すでにかなり減らした）」(7.2%)が続き、外食費を減らす意向の人は合計で34.7%となり、約3人に1人が外食費を削減する傾向であることがわかりました。（*1ヶ月間の夜の外食費）

【グラフ1】消費増税による外食費*の変化について（SA、n:11,773）



◆費用を減らしている外食シーン：トップは「1人での外食」(65.4%)。「大切な人との普段の外食」(38.4%)、「同性の友人との外食・飲み会」(28.7%)が続く結果に

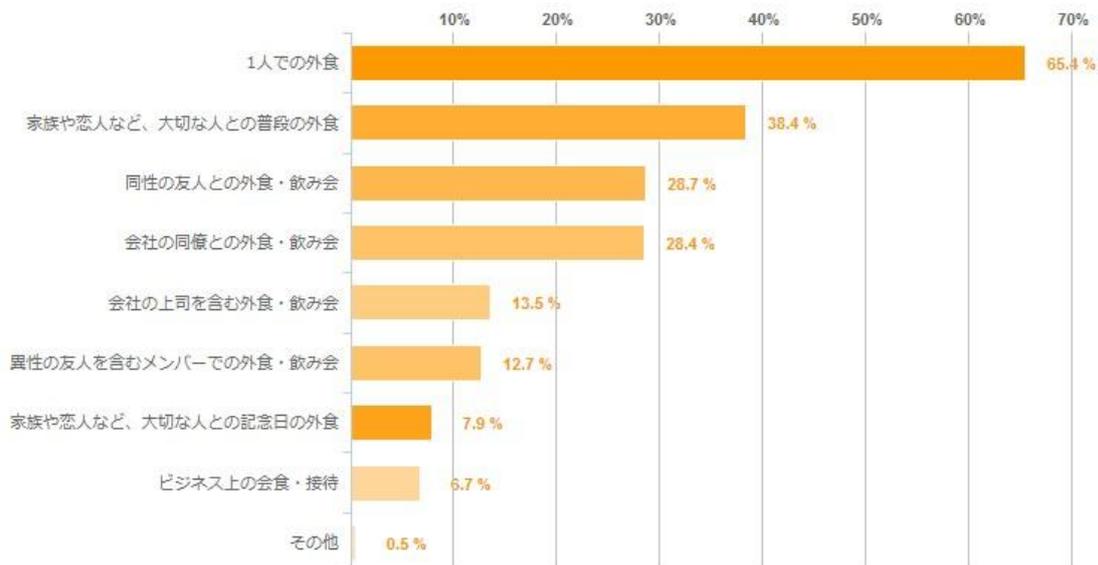
外食費を減らす意向の人たちに、具体的にどのような外食シーンで減らしているのか聞いたところ、もっとも多かったのは、「1人での外食」(65.4%)で、続いて「大切な人との普段の外食」(38.4%)、「同性の友人との外食・飲み会」(28.7%)、「会社の同僚との外食・飲み会」(28.4%)となりました。

また、世帯属性別で単身世帯をみると、「1人での外食」(82.6%)が全体集計より2割弱高いダントツの結果となりました。それに同性の友人や会社の同僚との外食が続いており、費用の調整が比較的容易な部分で、外食費を減らしていることがわかります。

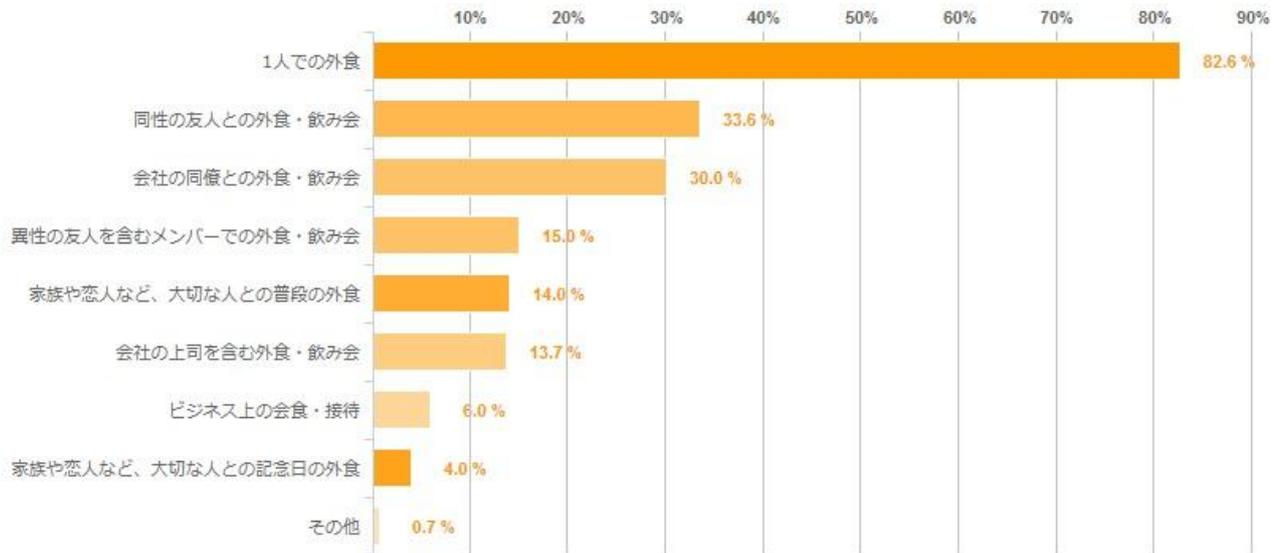
一方で、「ビジネス上の会食・接待」は6.7%と、プライベートの外食に比べると影響が少ない模様です。

【グラフ2-1】予算を減らす意向（すでに減らした）のある外食シーン（最大3つまで選択、n:4,079（外食費を減らす意向の回答者））

（※1回毎の外食予算は減らさず、外食の回数を減らした方は、その減らした外食シーンを回答）



【グラフ 2-2】 予算を減らす意向（すでに減らした）のある外食シーン（世帯属性別 単身世帯）
（最大3つまで選択、n:903（外食費を減らす意向の単身世帯））



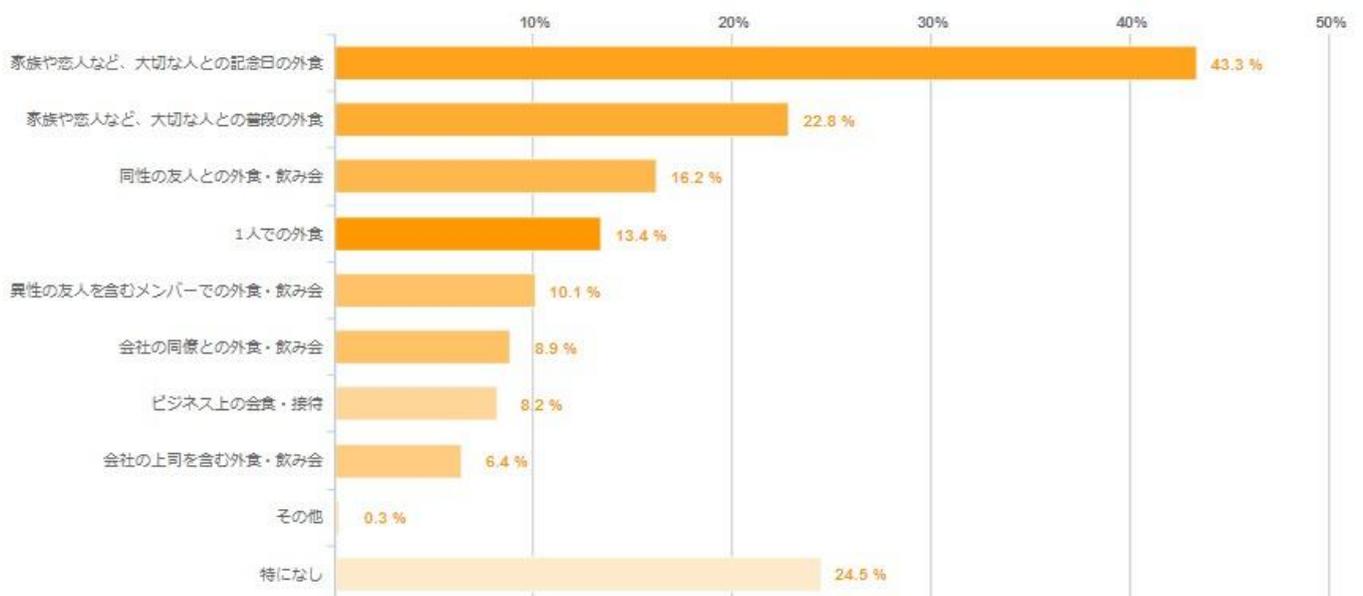
◆外食費を減らす意向の人でも、例外的に外食予算を維持、増やしている外食シーン：

「大切な人との記念日の外食」がトップ。男女別では、女性に“女子会重視”の傾向

「家族や恋人など、大切な人との記念日の外食」（43.3%）がダントツとなり、お祝い事（ハレ）と日常（ケ）のメリハリをつけようとしている意識が伺えます。

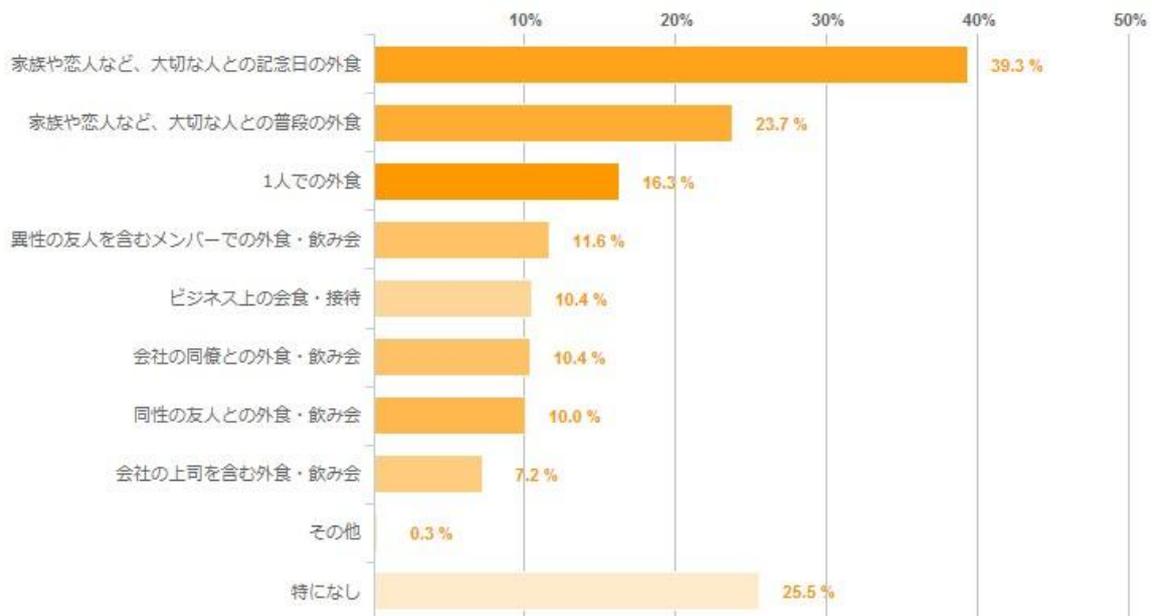
一方、男女別でみるとトップはいずれも「大切な人との記念日の外食」となりましたが、2番目は男性が「家族や恋人など、大切な人との普段の外食」だったのに対して、女性は「同性の友人との外食・飲み会」となり、“女子会”を重視していることが伺える結果となっています。

【グラフ 3-1】 全体として外食費を減らす（減らした）中でも、予算を維持もしくは増やしている外食シーン
（MA、n:4,079（外食費を減らす意向の回答者））

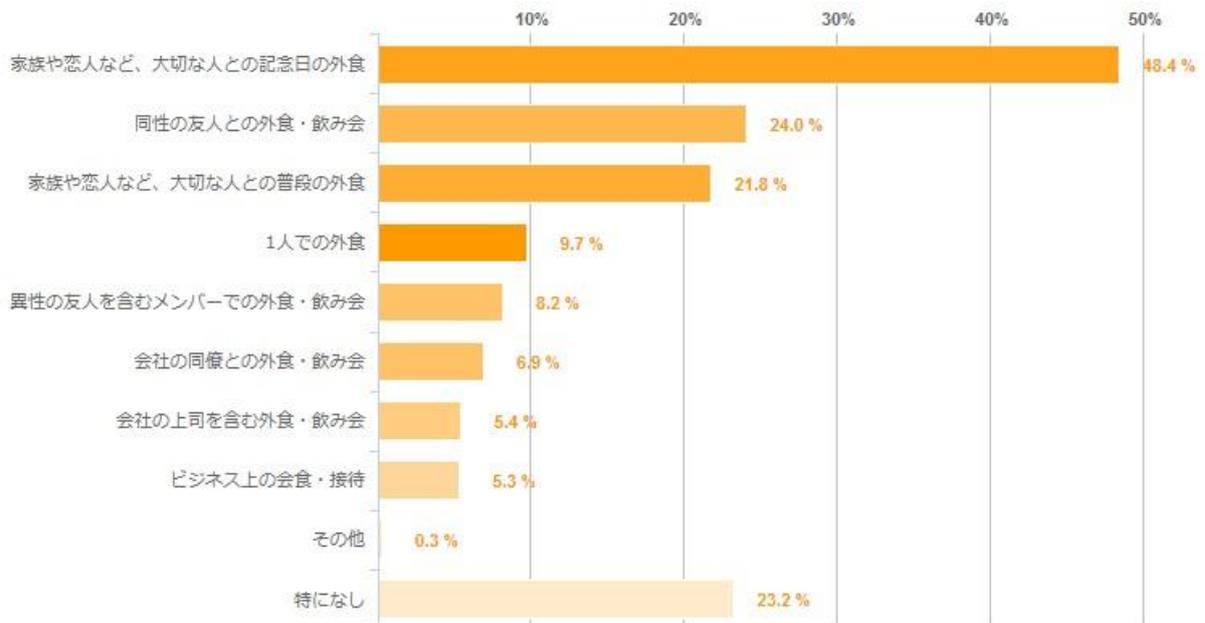


【グラフ 3-2】 全体として外食費を減らす（減らした）中でも、予算を維持もしくは増やしている外食シーン（男女別）

【MA、男性 n:2,293（外食費を減らす意向の回答者）】



【MA、女性 n:1,786（外食費を減らす意向の回答者）】

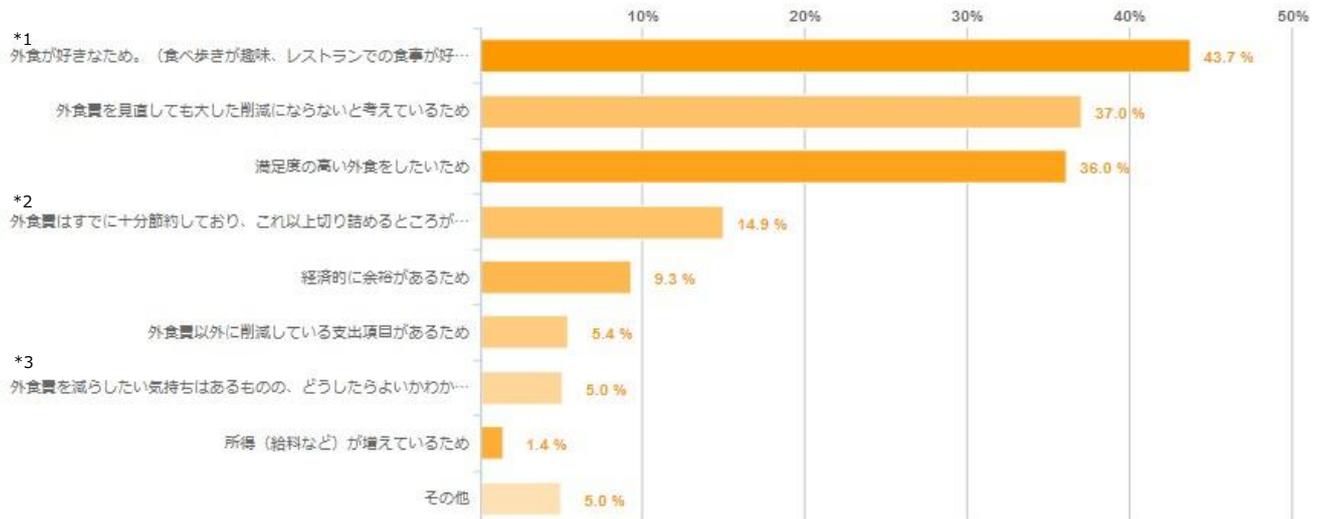


◆増税でも外食費を変えない理由：「外食が好き」（43.7%）、「外食費を見直しても大した削減にならない」（37.0%）、「満足度の高い外食をしたい」（36.0%）

増税でも外食費を変えていない人にその理由を尋ねたところ、もっとも多かったのは「外食が好きのため」（43.7%）。次いで、「外食費を見直しても大した削減にならないと考えているため」（37.0%）、僅差で「満足度の高い外食をしたいため」（36.0%）が続きました。今回の調査対象者が、グルメへの関心が比較的高い食ベログユーザーであることも多少影響していると思われるますが、外食については、費用のことよりも、外食時のシチュエーションや食事の内容を楽しむことに重きを置いていることが伺えます。自由回答にも、「気分転換」「心身の

満足」「友人との時間」「人脉作りや情報交換」「家族の団らん」「妻の家事負担の軽減」といった回答が見られ、単に外で食事をするだけではなく、自身のライフスタイルの充実に活かしている模様です。

【グラフ4】 外食費を変えない理由(MA、n:7,644 (増税後の外食費が「特に変わらない」と回答した方))



- *1 外食が好きなため(食べ歩きが趣味、レストランでの食事が好きなど)
- *2 外食費はすでに十分節約しており、これ以上切り詰めるところがないため
- *3 外食費を減らしたい気持ちはあるものの、どうしたらよいかわからない

【調査パネル】

調査エリア：全国

調査対象：食べログ ID 登録ユーザー

調査方法：メールマガジンによる調査

回答者数：11,773 人 (男性 7,257 人、女性 4,516 人)

調査期間：2014 年 4 月 4 日～2014 年 4 月 7 日

調査実施機関：株式会社カカコム

※四捨五入による端数処理のため、合計が 100%にならないことがあります。

『食べログ』概要

“信頼のできるレストラン選び”をコンセプトに 2005 年 3 月開設。ユーザーから寄せられたクチコミと点数評価から、独自に設けたロジックでレストランランキングを算出し、提供しています。

『食べログ』点数算出方法について：<http://tabelog.com/help/score/>

【食べログデータ】(2013 年 12 月末現在)

掲載レストラン数：約 76 万件、クチコミ投稿数：約 500 万件、写真投稿点数：約 1,830 万点

月間総 PV：11 億 6,692 万 PV、月間利用者数：5,301 万人 (<内訳> PC：2,497 万人、スマートフォン：2,639 万人、フィーチャーフォン：165 万人)

▼『食べログ』SNS 公式アカウント

Facebook : <http://www.facebook.com/tabelog>Twitter : <http://twitter.com/tabelog>**データの引用・転載時のクレジット表記について**

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

クレジット表示例

- ・「食べログ」調べ
- ・ランキングとクチコミのグルメサイト「食べログ」が実施した調査によると…